



田中章義教授近影

## 田中章義教授退任記念号の発刊に寄せて

田中章義教授は、2005年3月に本学を定年退職されました。先生は1964年4月に本学に着任され、以来41年の長きにわたって在職され、教育、研究、学内行政に携わってこられました。本年度で開設後42年を迎える本学経営学部の設立時からの中心メンバーとしてその発展を担ってこられたばかりでなく、本学全体の充実・発展にご尽力くださったことに対して、心から感謝申し上げます。本学はそのため、先生に対して2005年5月に名誉教授の称号を贈らせていただきました。

田中先生は、1934年に北海道札幌市でお生まれになり、北海道大学経済学部をご卒業後、同大学大学院経済学研究科の修士課程および博士課程を経て、本学に専任講師（経営統計、簿記原理担当）として着任されました。その後先生は、1967年4月に経営学部助教授に、さらに1978年4月に経営学部教授に昇進されました。

田中先生のご専門は、会計学と統計学にまたがり、とりわけ会計学と統計学の方法論および欧米と日本の会計学説史の研究を精力的に行ってこられました。その成果は2つの著書、7つの分担執筆著書、および多数の論文として発表されています。先生はこれらの研究を通じて、日本の会計学および統計学の理論発展に貢献されました。1981年4月から1年間国外研究のため英国のバーミンガム大学に上級客員研究員として滞在されて以来、先生は英語圏諸国の研究者とも親しく交流され、国際的な学会等でも活躍なさいました。「会計の根源は貨幣（資本）のもつ計算機能にある」とみる先生の解釈を英国のマンチェスター大学で開催された会計学際会議で私が紹介したところ、大きな反響をよび、「田中理論をもっと知りたい。英文では読めないのか。」と何人かの研究者から詰め寄られました。

田中先生は、教育にも熱心に取り組んでこられました。経営統計や簿記原理の講義では、受講生に対して丁寧にかつ情熱的に授業を行われました。学部の田中ゼミおよび大学院の研究指導では、勉強の仕方から始まってものごとの考え方および理論の組み立て方に至るまで厳しい知的鍛錬を通じて多くの優れた学生・院生が育ちました。

また、大学運営の面でも田中先生は活躍なさいました。1982年4月からの2年間、経営学部長（学校法人東京経済大学理事）の要職を務められたのを始め、数々の委員会の長を歴任され、そのときどきに必要な改革を推進されました。先生は、既存の体制に固執して教育と研究の刷新に取り組みない態度に対しては厳しい批判者でありました。教育面ではつねに真摯に学ぼうとする学生の立場に立ち、また研究面では真摯な態度で学を深めようとする研究者の立場に立って大学の革新を唱えられました。

田中先生は、会計をその根底から総体として明らかにしうる会計理論を構築するという構想を抱き、1930年代の初期から科学としての会計学の研究を試みた日本の先達の業績を摂取

田中章義教授退任記念号の発刊に寄せて

することのできるこの国の会計学者こそそのような理論形成の担い手としてふさわしいと考えておられました。今日、世界の会計学はそれぞれの専門領域にますます細分化され、研究方法も多様に分化して学の総合化・体系化は困難な状況にあります。このようなときこそ田中理論が活かされるべきと考える研究者は少なくありません。

現在、田中先生は会計を資本の自己意識として統一的に捉える理論の構築に取り組んでおられます。本記念号に収録されている先生ご自身の論文（最終講義）はその成果の一端とみることができます。これからも先生は生涯現役として研究をつづけられることと思いますが、会計学（および統計学）は今後どのように発展すべきかについて引きつぎ私ども後進にご教示くださるようお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

2006年3月

経営学部長 陣内良昭

# 田中章義教授年譜並びに主要業績目録

## 生 年

1934（昭和9）年5月27日 北海道札幌市に生まれる（父源次郎，母ユキ）

## 学 歴

1959年3月 北海道大学経済学部経済学科卒業（経済学士）  
1961年3月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程修了（経済学修士）  
1964年3月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学

## 本学経歴

1964年4月 東京経済大学経営学部専任講師（簿記原理、経営統計担当）  
1967年4月 東京経済大学経営学部助教授（簿記原理、経営統計担当）  
1978年4月 東京経済大学経営学部教授（簿記原理、経営統計担当）  
1981年4月 東京経済大学国外研究員として英国バーミンガム大学客員上級研究員（1982年3月迄）  
1982年4月 東京経済大学経営学部長（1984年3月まで）  
2005年3月 東京経済大学定年退職  
5月 東京経済大学名誉教授  
6月 学校法人東京経済大学理事

## 所属学会

経済統計学会会員（1961年～現在）  
日本会計研究学会会員（1964年～現在）  
日本会計史学会会員（1982年設立～現在）  
会計理論学会会員（1986年設立～現在）  
日本簿記学会会員（1996年～現在）

## 業 績 目 録

### 著 書

- 『経営統計学』(共著：田中章義・伊藤陽一・木村和範) 北大図書刊行会，1980年9月  
(中国語訳：栗方忠他訳『経営統計学』北京中国統計出版社，1989年9月)  
『インタビュー 日本における会計学研究の発展』(共編著：編集代表 田中章義) 同文館，  
1990年9月

### 分担執筆著書

- 「長期経営計画とその科学的手法－ORの基本的性質の吟味」経営分析研究会編『経営分析論』世界書院，1965年12月  
「経営統計」内海庫一郎・木村太郎・三瀧信邦編『統計学』有斐閣，1966年12月  
「経営情報システムにおける基礎概念」内海庫一郎編『社会科学のための統計学』評論社，  
1969年5月  
「現代経済学と会計学」是永純弘編『現代経済学の方法と思想』日本評論社，1975年1月  
「工業統計」三瀧信邦・関弥三郎編『テキストブック 経済統計論』有斐閣，1985年4月  
『会計方法』説の展開 敷田禮二・山口孝編『批判会計学の展開』ミネルヴァ書房，1981  
年12月  
「資本の循環と複式簿記」富塚良三・井村喜代子編『資本の流通・再生産』(資本論体系4)  
有斐閣，1990年4月

### 学 術 論 文

- 労働生産性の測定について－F.Behrensの所説－『統計学』第8号，1960年4月  
物的勘定学説における負債概念をめぐる論争について『北大経済学』第1号，1961年3月  
F. ジーエックの「非正規的統計手続論」について『北大経済学』第2号，1962年7月  
会計と経営統計の関係について『北大経済学』第3号，1963年3月  
会計計算構造とその記載対象の関係に関する一考察『北大経済学』第4号，1963年10月  
統計対象にかんする諸家の見解について『東京経済大学創立60周年記念論文集』，1965年  
10月  
貸借対照表における商業信用の表示について－自己資本比率低下問題に関連して－  
『東京経大会誌』第51号，1966年9月  
《研究ノート》宮上会計理論の方法についての若干の疑問－宮上一男著『企業会計の理論』  
1965をよんで－『東京経大会誌』第54号，1967年6月

- 黒沢会計理論の「根本思考」について－畠中福一『勘定学説研究』批判への反批判－『東京経大会誌』第 56 号, 1967 年 12 月
- 道路投資の基本性格－道路公団の分析－『経済評論』10 月増刊号, 1968 年 10 月
- 会計における目的論的思考の構造－現代会計思想研究(1)－『東京経済大学創立 70 年記念論文集』, 1970 年 12 月
- 近代会計学の目的論的性格－リトルトン理論の構造－現代会計思想研究(2)－『東京経大会誌』第 73 号, 1971 年 11 月
- 会計公準論の基本的構造－現代会計思想研究(3)－『東京経大会誌』第 75 号, 1972 年 2 月
- 会計の社会性について－浅羽会計理論の検討－『東京経大会誌』第 81 号, 1973 年 2 月
- いわゆる個別資本説の方法について－会計の形態規定に寄せて－『東京経大会誌』第 86 号, 1974 年 3 月
- 企業利益の問題と会計学『企業会計』26 卷 4 号, 1974 年 4 月
- 再び会計の社会性について－浅羽二郎氏の反批判によせて－『東京経大会誌』第 93 号, 1975 年 12 月
- 宮上会計理論について－その系譜と批判的検討－『東京経大会誌』第 96 号, 1976 年 7 月
- 会計における内容と形式『東京経大会誌』第 96 号, 1976 年 7 月
- The Specific Provision Account as a Legitimate System of Secret Reserve. 『東京経大会誌』第 125 号, 1977 年 8 月
- The Japanese Contribution to the Theory of the Development of Accounting. (共著者陣内良昭) “Quarto Congresso Internazionale di Storia Della Regioneria”, Pisa University Press. Pisa, Italy. 1985 年
- 生産力・生産関係・生産様式概念について『東京経大会誌』第 143 号, 1985 昭和 60 年 11 月
- 岩田巖氏における会計理論の形成 (上),(中)『産業経理』47 卷 4 号, 49 卷 4 号, 1988 年 1 月, 1981 年 4 月
- A History of the Early Japanese Theorists' Development of the “Capital Circulation” Approach. “Accounting, Auditing and Accountability” Vol.3, No.2, MCB University Press, Bradford, U.K. 1990 年 11 月
- 日本における会計学的方法的特徴－1930 年代から 1945 年まで－『東京経大会誌』第 169 号, 1991 年 1 月
- 「公益的法人」の会計について－非営利会計研究序説－『東京経大会誌』第 198 号, 1996 年 9 月
- 戦後日本における会計学と政治 (1)－批判会計学の形成－『東京経大会誌』第 202 号, 1997 年 3 月

田中章義教授年譜並びに主要業績目録

会計学における批判の方法について－理論会計学と批判会計学－『関西大学商学論集』42  
巻第1号, 1997年4月

戦後日本における会計学と政治(2)－角瀬保雄説にみる「批判会計学」の状況－『東京経  
大学会誌』第203号, 1997年7月

《研究ノート》事業所統計調査の「経営組織」分類について－政府統計における「非営利  
組織」形態の分類－『東京経大学会誌』第209号, 1998年7月

戦後日本における批判会計学の再編と現状『会計理論学会年報』11号, 1997年9月

会計研究者の「結果責任」について－角瀬保雄教授の反批判に応える－『東京経大学会誌』  
第210号, 1998年9月

会計学の政治化とその学問的帰結『会計理論学会年報』第13号, 1999年9月

地方自治体会計の現状と課題について『東京経大学会誌』224号, 2001年3月

会計における公開の概念について『東京経大学会誌』232号, 2003年1月

会計における主体と客体－会計主体論争を顧みながら－『東京経大学会誌』242号, 2005  
年1月

## その他

### 《書評》

浅羽二郎著『理論会計学の基礎』(1978年, 白桃書房)『武蔵大学論集』26巻2・4合併号,  
1978年11月号

藤田昌也著『会計利潤論』(1987年, 森山書店)『会計』132巻1号, 1987年7月

### 《追悼》

岡田誠一先生を追悼する『会計』108巻5号, 1975年11月

山田貢さんを追悼する『統計学』87号, 2004年9月

### 《翻訳》

『虚構の統計』(伊藤陽一・田中章義・長屋政勝他訳) 梓出版社, 1983年5月  
(J.Irvine, I.Miles and J.Evans ed., Demystifying Social Statistics, Pluto Press,  
London, 1981)

### 《資料》

大学授業での出席管理をめぐる諸問題－アンケートによる学生200人の体験と意見－  
『東京経大学会誌』230号, 2002年7月

### 《学会発表》

「情報科学としての会計学の意義と限界」日本会計研究学会第28回大会(甲南大学), 1969  
年5月18日

「会計理論の方法」日本会計研究学会第21回関東部会統一論題(武蔵大学), 1973年10月

6 日

「会計理論の発展にたいする日本の貢献」(共同報告者：陣内良昭) 国際会計史学会第 4 回大会 (ピサ大学, イタリア), 1984 年 8 月 25 日

「岩田会計理論の現代的意義」日本会計研究学会第 43 回大会 (中央大学), 1984 年 5 月 25 日

「日本会計学史研究の意義と方法」日本会計史学会第 6 回大会 (近畿大学), 1987 年 5 月 21 日

「戦後批判会計学の再編と現状」理論会計学会第 11 回大会 (九州大学), 1996 年 9 月 27 日

「官庁統計における『非営利経営』の問題」日中統計学研究学会第 2 回大会 (関西大学), 1997 年 9 月 29 日